

平成29年度

府中市の小中学校に「義務教育学校」制度導入予定



変化の激しい社会を生き抜く子ども達を育てるため府中市は小中一貫教育をさらに前進させます。

府中学園・府中明郷学園 → 義務教育学校
府南学園・上下学園 → 併設型小・中学校

いずれも、小中一貫教育をさらに進めるための国の学校制度です。

府中市が積み上げてきた教育環境



平成16年 ⇒ 小中一貫教育 スタート

平成26年 ⇒ コミュニティ・スクール 導入

小中一貫教育の推進
「学びの充実・学びの満喫」

学力の向上

中1ギャップ解消

豊かな心の育成

小中一貫教育カリキュラム



中学校教諭による小学校乗り入れ授業

コミュニティ・スクール
「地域とともにある学校づくり」

学校

地域

活性化

教育力アップ

家庭

元気に

地域貢献活動

多様な
ゲストティーチャー



義務教育学校制度 Q & A

Q1 義務教育学校制度ができたのは、なぜ？

A これからの子ども達に求められる力。
それは、変化の激しい時代を生きるために、自分の力で未来を切り開く能力です。
新たな時代を生きる子どもの育成のため、国の教育制度の一つとして、「義務教育学校制度」が誕生しました。



Q2 義務教育学校って、どんな学校？

A 小学校1年（1年生）から中学校3年（9年生）までが在籍する学校です。
その9年間のカリキュラムに、「学習内容の入替え・移行」と「新教科の創設」が認められた学校です。
全教職員が、9学年の子ども達の教育にかかわります。



Q3 義務教育学校と、併設型小・中学校の違いは？

A 併設型の小・中学校は、現在の学校のままで、義務教育学校と同じカリキュラムを実施できる学校です。



Q4 現在の府中市小中一貫教育との違いは？

A これまでの学校の立地や学校教育の目的には、違いはありません。
しかし、学習の中で子ども達が「難しい」「分からない」と感じていることに対して、これまでの小中学校の先生方の指導の工夫に加え、新たに9年間のカリキュラムを工夫できるようになっています。
例えば、「9年間の学習内容の入替え・移行」「学び直し」です。
また、「コミュニケーション科」「ものづくり科」など、将来必要となる能力の育成をめざして独自の教科を設定することもできます。

小中一貫教育とコミュニティ・スクールに取り組んでいる府中市では、義務教育学校の制度を導入する土台は整っています。

